

## 苦情品診断学実践講座

2024年1月発行



執筆 / 監修者：榎本雅穂・相馬成男・竹内徹・西山誠・内山雅章

発行者：一般社団法人 日本繊維製品消費科学会（〒530-0042 大阪市北区天満橋 2-2-7-403）

（TEL：06-6358-1441 FAX：06-6358-1442 E-mail：shohikagaku@nifty.com）

A4版：128ページ ISBN：978-4-9905101-3-8 定価：2,750円（本体価格：2,500円）＋送料

印刷所：株式会社リョーサン

本書は、私たちが日々着用している衣料品の生産・流通段階で生じるさまざまな事故と消費段階で生じる苦情に関して、紳士服アパレル、婦人服アパレル、クリーニング、検査機関の5人の専門家が、座談会形式でそれぞれ異なる立場や経験から事故の原因、その背景にある化学的な現象や、製品を管理する現場での対応など、トラブルに対する見解を、わかりやすく解説しています。

その内容は、「苦情品診断学実践講座」として「日本繊維製品消費科学」誌2018年1月号～2020年11月号まで全18回にわたり連載されたものを基本に、これらを全面改訂して、一冊にまとめました。書籍化にあたっては、事故と苦情を内容別に理解できるように、色、外観変化、損傷、縫製、副資材、形態変化、取扱い表示に分類して、苦情別分類目次を作成しております。

本書によって、それぞれの立場から見たトラブルの捉え方と、製品別の物性や染色堅ろう度基準のあり方などを明らかにすることができます。これから学ぼうとされる諸氏には、“一つの苦情事例からこんなにも多くのことが解るのか”と感ずることができる“おもしろ読本”になるように企画しています。企業人には、“あれ、どうだったかな”と戸惑ったときの“助け舟”なるように構成しています。ご期待に添える内容になっていると思いますので、是非お求め下さい。

## 目次

1	綿ポロシャツの色泣き	11	ピリングとスナッグ
2	ポリウレタン合成皮革の損傷劣化とポリ塩化ビニルレザーの硬化	12	ドレスシャツなどのシームパッカリング
3	ニット製品の地糸切れ	13	ポリエステルを染色する分散染料のサーモマイグレーションと昇華による移染と汚染
4	綿製品の光及び汗による変退色	14	着用や洗濯などによる白化
5	綿ジャケット及び綿シャツの強力低下による損傷	15	化学薬剤などによる様々な変退色や脱色のトラブル
6	中わた製品などに発生する石油系ドライクリーニングによるきわつき	16	苦情内容と取扱い表示との関係（その1） 水洗いのメリット及びウエットクリーニングの現状と問題
7	ポリエステル・ポリウレタン混用品の水洗い又はドライクリーニングによる洗液汚染	17	苦情内容と取扱い表示との関係（その2） 酸素系漂白剤の抱える問題と洗濯処理に関する記号の問題 第6回で問題となったウオータースポット
8	ニット製品の斜行によるねじれ	18	アパレル製品の評価、試験及び基準と取扱い表示
9	接着芯地の部分剥離と接着樹脂のしみ出し		苦情品の新旧取扱い表示対比
10	繊維製品の窒素酸化物による変退色と黄変		索引

（一社）日本衣料管理協会 会長

（一社）日本繊維製品消費科学会 元会長・名誉会員 島崎 恒藏

現在、わが国の繊維・ファッション業界は、総じて困難な環境下にあります。それに加えSDGsの新たな流れなどにも目配りが求められています。このような状況を背景に、業界が目指すべき商品づくりの大きな方向性は、一言でいえば、広い意味での「高品質」という語に集約されると考えます。そして消費者もまた、これからは価値観を含めて相応の見識が求められる時代に向かっているといえるでしょう。

本書は、繊維製品の苦情診断から再発の防止まで、平易かつ明瞭に解説されておりますので、現在、この業界で実際に仕事に従事しておられる方、商品苦情に興味をお持ちの方、そして一般消費者においても十分お読みいただける内容になっております。また、（一社）日本衣料管理協会が、毎年実施しております繊維製品品質管理士（TES）認定試験科目の一つである「事例」の受験対策にも、参考書（副読本）として、ご利用いただけるのではないかと考えます。

いずれにしても本書を通して様々な立場の皆様に、広く商品苦情に関する知識・実態が共有化され、苦情品対策に有効活用していただけるよう、心から念願いたしております。